



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

日本女子大学大学院 人間社会研究科 心理学専攻

基礎・基礎関連領域

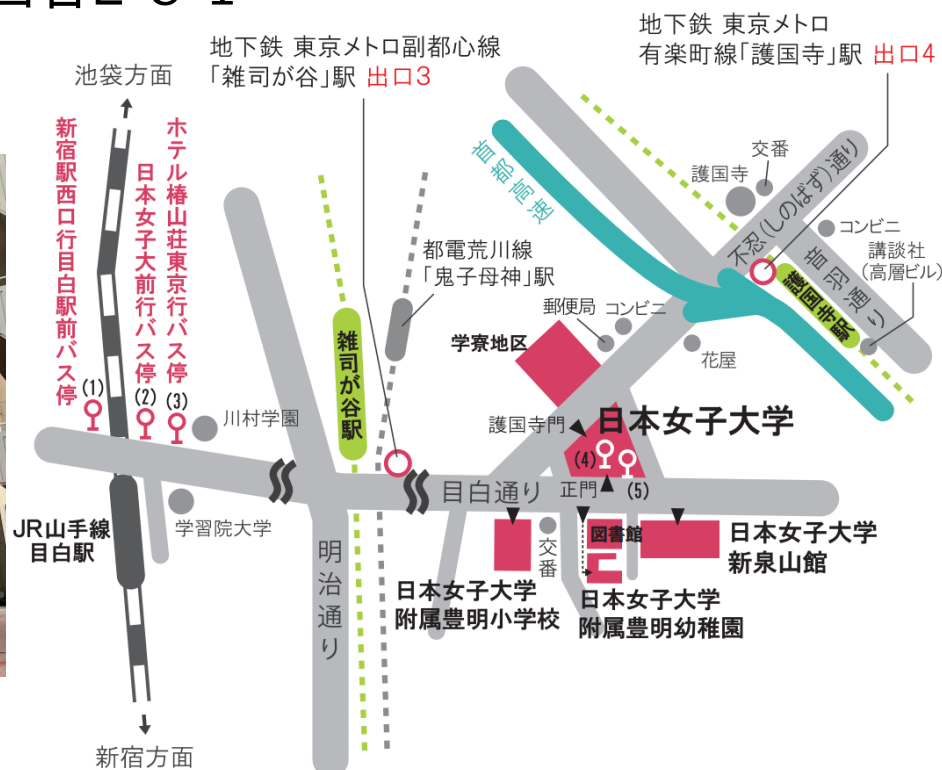


日本女子大学大学院
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL

所在地

日本女子大学目白キャンパス

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1



現役院生に聞く！ ～大学院の魅力とは～



Hさん
博士課程後期2年生



Sさん
博士課程前期1年生



Wさん
博士課程後期1年生

質問1. 大学院に進学した理由は?

?



Wさん

純粹に、卒業研究がとても楽しかったからです。実験計画を立て、それをもとに実験し、データ解析を行い論文としてまとめる。卒業研究ではじめて研究の一連の流れを経験し、とても新鮮に感じました。研究内容をより深めたいという気持ちもありましたが、同時に、研究の仕方や実験方法を学びたく、大学院に進学しました。

学部の授業や卒論実験をとおして、心理学って面白いなあ、もっと研究してみたいな、と思ったのが大きな理由だったと思います。また、普通に働くよりも、現象の解明に携わりたいと感じたことも進学理由の一つです。



Sさん



Hさん

やっぱり研究! 正直、具体的な将来のビジョンが見えていたわけではなかったのですが、自分は研究をしていきたいと学部3年の時に決めてしまったから(笑)。きっかけは公務員の集団面接対策講座で、他の人と話していた時にだれも私の話に頷いてくれなかったことで「これじゃない」と気づけました。

質問2. 進学してよかったことは何ですか？

？



Wさん

国内外での学会発表や論文執筆の機会を通じて、同じ分野の先生方から研究についてアドバイスをいただけることです。学内の授業でも、先生や院生同士でお互いの研究内容についてディスカッションできるので、とても良い刺激になります。

社会現象と照らし合わせて、心とは、人間とは何かを、同級生とディスカッションしながら深く考えることができる点が面白いですし、今後の人生の糧になるかと思っています。



Sさん



Hさん

先生方が優しい！基礎領域は人が少ないということもありますが、授業も先生を含めて3人というのもざらです。なので、研究に関する話のほかに関連する論文などをいただけたり自分の知識を広めることができます。何より先生方が優しいので色々お話をしてくださるのがとても楽しいです。

質問3. 研究をしていて楽しいと思う時とは?

?



Wさん

今までの実験が終了し、新しい実験を行う時が一番楽しいです。また、実験で予想していなかった結果が出たときや、その理由について考えることも楽しいと感じます。

研究計画を立てている時と、集まったデータを整理して分析している時が一番楽しいです。どういう計画を立てれば学術的に、あるいは自分の関心的に有意義なのか、そして実際にどのような結果が出たのかを見るのはとてもワクワクします。



Sさん



Hさん

アイデアをまとめているときですね。実際に実験をしているときよりも「こういう研究できるかも」とか「この仮説を検討してみるの面白いかも」とかいろいろ考えているのが一番楽しいかもしれません。なので、実験しているときや実験の結果を分析しているときはもはや流れ作業みたいな感じになってしまいますね。

質問4. 逆に大変なことは何ですか？

？



Wさん

時間配分を考えることです。実験を行うために必要なスキルや知識に関しては常に勉強が必要です。また実験を行うだけでなく、成果報告にも注力するので、自分のやるべきことを明確化させ、なるべく計画的に実行することを心掛けています。

研究計画を立てるのと実際に実験しているときです。計画を立てるのは楽しいですがとても大変です。また、特に子どもを対象に研究するときは配慮が欠かせず気を張っているのでちょっと疲れます。



Sさん



Hさん

関心領域が広くて焦点が定まらないこと。自分が面白いと思うものを片っ端からやりたくなり、書きだし、詰め込むので結局「何を言いたいのか」が人から見てわからなくなる。基礎領域の人はスポットライトを狭められる方が進みやすいかもしれないですね。

質問5. 研究はどのように進めていますか？

？



Wさん

研究は、指導教授と相談しながら進めています。先行研究を読むところから始め、実験計画を立てる際には何度もミーティングを重ねます。本実験に入る前には、同じゼミの学生にも予備実験に協力してもらっているので、完全に一人で研究を進めることはないように思います。

関心のある分野に関する論文を読み漁ってテーマを絞り、指導教員の先生と話し合いながら研究計画を立て、実験を行う、という流れで進めています。



Sさん

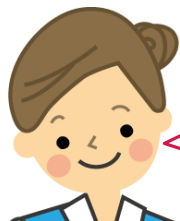


Hさん

自分のペース...自由ですね。ゼミにもよりますがうちは「やるもやらないも自由」！なんの規制も基準もないので、個人に任されます。ですのでだいたい勝手に進めた結果「君は先走るよね」だそうです。研究を進めるうえでは、何よりもゼミの先生とのコミュニケーションは大事ですね。話し合って決めてください。

質問6. 学部と大学院の一番大きな違いは？

？



Wさん

研究メインの生活になったところだと思います。授業においても、英語論文を読んだり、実験方法に関する知識を得たりと、研究遂行に必要なスキルを学んでいます。

勉強と研究の違いだと思います。学部では講義を受けて様々な知識を獲得・蓄積していきますが、大学院では自発的に新たな知識を獲得し、それを利用して調査・考察を展開していくイメージです。



Sさん



Hさん

自分が用意したレジュメを発表したり、発表に対して意見を述べあうといった主体的な授業が増えます。常に自分の意見を持つことを意識するので、気づけばよくしゃべる人になれるかも。学部生に教える機会も増えるので自分の中であいまいだった概念に気づいたり、「どう話したらわかりやすく伝わるのだろう？」という視点が生まれます。

質問7. アルバイトはしていますか？

？



Wさん

心理学研究法の授業や4年生対象の卒業研究のTAをしていました。卒業研究のTAでは、実験データの解析方法や卒業論文の書き方などをサポートしました。

学部の1・2年生の実験演習のTAをしています。出欠や提出物の管理、今年度はインターネット上で交流掲示板の運営などをして、下級生の学びの環境を整えています。



Sさん



Hさん

本学でTAと他大で非常勤講師をしています。TAは修士の時に、「基礎情報処理」「初級演習」「心理学実験1」「心理学統計法Ⅰ・Ⅱ」を担当しており、「心理学実験Ⅰ」だけは4年目になります。「基礎情報処理」は他の学科も取る授業ですが、それ以外は心理学科の授業で学部1年生が受講する授業になっています。



Wさん

こんな研究しています！

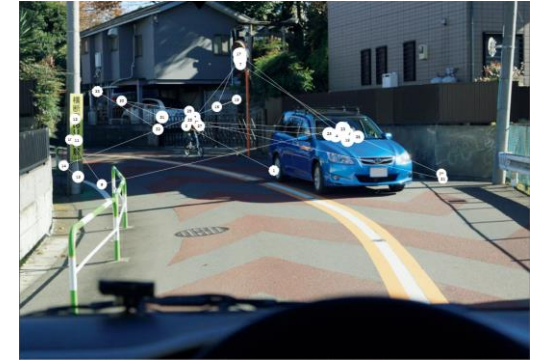
～学習に關与する認知メカニズムの解明～

学習に關わるメカニズムについて研究しています。

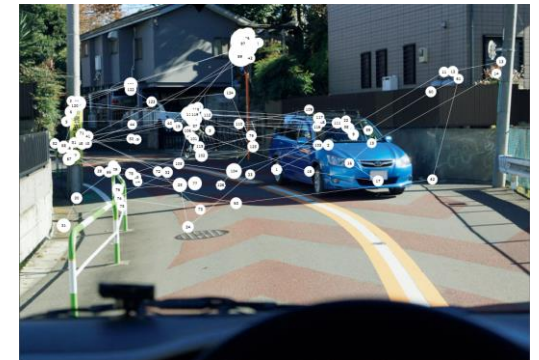
課題遂行時の視線を計測し、その視線特性からメカニズムを推定するといった内容です。

例えば右図は、交通場面から危険箇所を探索させる課題を、運転経験の有無に分けて行った時の視線を示しています。各円は1回の凝視、凝視同士をつなぐ線はサッカードを示しています。視線計測器(Tobii Pro X3-120)を使うと、このようなデータが得られます。右図では、運転経験の有無での視線特性が随分と異なることがわかります。

視線特性を解析することにより、学習の期間や環境によってどのようなメカニズムが働くのか解明したいと思っています。



運転経験者の視線特性



運転未経験者の視線特性



Hさん

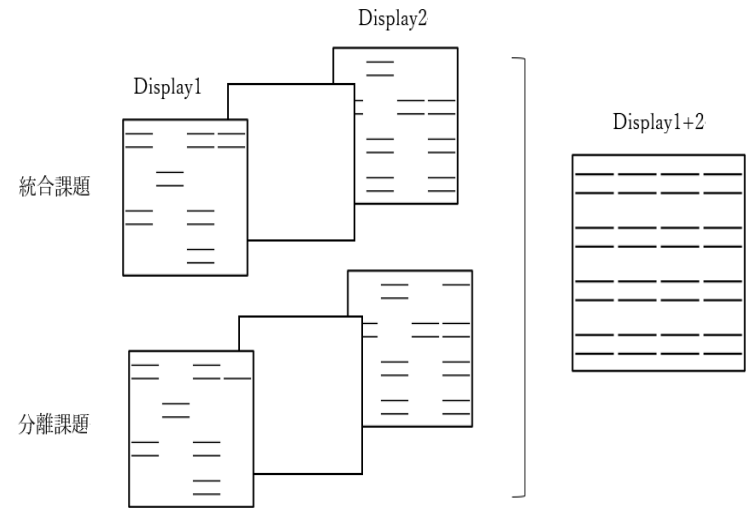
こんな研究しています！

～視覚的持続の機能研究～

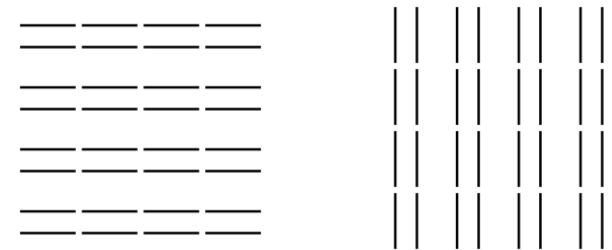
感覚記憶の中でも視覚的持続の機能について研究しています。2枚の刺激を短時間呈示し、統合課題・分離課題と呼ばれる2つの課題を行うことで、視覚的持続の長さを算出しています。

現在行っているのは、垂直線と水平線を見ている時の視覚的持続の長さに違いがあるのではないかということを検討しており、予備実験段階では水平線の方が視覚的持続が長いという結果になっています。

「水平・安定仮説」という仮説を立て、運動を知覚するうえでは邪魔とされるこの機能がどのような役割を果たしているのかという機能的意義を解明することが研究目的です。



視覚的持続の課題



視覚的持続の刺激例



Sさん

こんな研究しています！

～集合体恐怖の発達研究～

ハスの花や蜂の巣のような円形物体や穴の集合体に対する強い不快感(集合体恐怖)について研究しています。

卒業研究では、集合体恐怖がいつ頃から生じるのかを調べるため、4～9歳の子どもと成人を対象に、写真の印象について評定課題をおこないました。

その結果、すべての年齢群で集合体画像の方が中性画像よりも不快と判断されたことから、少なくとも4-5歳ごろから集合体恐怖が生じている可能性が示されました。

今後は情動の発達と進化をテーマに研究を進めていきたいです。



集合体恐怖の例



評定課題の画面と評定項目・評定段階

基礎領域の院を目指す人へ：一言アドバイス！



Wさん

大変だと感じることもありますが、それ以上に楽しいと思える経験ができると思います。親身になって相談に乗ってくださる先生方、学生がおりますので、なんでも聞いてください！

語句説明の勉強は心理学用語辞典などで勉強するとやりやすいと思います。大学院受験予備校などもありますが、きちんと勉強すれば十分合格できると思います。



Sさん



Hさん

やりたいと思えるのなら一歩踏み出してみては？どの道を選択しても先行きが見えないのは同じなので、せっかくやってみたい・興味があるならば、きっと進んでいけるとと思います。一言アドバイスとしては、「何をしたいのか、何が好きなのか」を見失わないことですかね(先輩面)！

教員 試験の概要



日本女子大学大学院
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL



日本女子大学大学院
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL

【基礎・基礎関連領域】

伊村知子	准教授	比較発達心理学
金沢 創	教授	知覚認知の発達
竹内龍人	教授	視知覚に関する実験心理学的研究
藤崎和香	教授	認知心理学
麦谷綾子	准教授	発達科学 音声言語獲得 コミュニケーション

【臨床心理学領域】

青木みのり	教授	家族療法、スクールカウンセリング、ブリーフ・セラピー
川崎直樹	教授	認知行動カウンセリング、復職支援、パーソナリティ論
塩崎尚美	教授	病院臨床、母子関係・親子関係の臨床、乳幼児精神保健
堀江桂吾	准教授	心理アセスメント, 病院臨床, 精神分析的心理療法



日本女子大学大学院
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL

2021年度試験日程

第1回出願期間: 2021年8月23日(月)～8月27日(金)

試験日: 2021年9月25日(土)・26日(日)

心理学基礎領域・基礎関連領域、臨床心理学領域

第2回出願期間: 2022年2月3日(木)～2月9日(水)

試験日: 2022年2月26日(土)

心理学基礎領域・基礎関連領域(臨床心理学領域は除く)

2022年度学生募集要項は、日本女子大学公式サイト・大学院入学案内ページよりダウンロードできます。

<https://unv.jwu.ac.jp/unv/admission/grd/application.html>



入試科目

英語	90分。心理学基礎領域、基礎関連領域、臨床心理学領域を含む。英和辞典持ち込み可。
心理学	90分。心理学基礎領域、基礎関連領域、臨床心理学領域を含む。
口述	第1次選抜合格者のみ。
	* 研究計画書の文字数: 1500字程度 * 卒業論文中間レポート: 1000字程度 1. 研究の目的、方法、内容 2. 研究の進行状況と今後の予定について。